

ひとり ひとり ひかる

きぼ う

2012 10/1
第70号

発行：かしの木の会/かしの木の里内 一宮市富田字砂原 2147 : kasisato@f7.dion.ne.jp
 榎の木園 : kasienn@k3.dion.ne.jp 榎の木作業所 : kasisyo@k2.dion.ne.jp
かしの木 ホームページ [http : www.h3.dion.ne.jp/~kst/](http://www.h3.dion.ne.jp/~kst/)



平成24年度 榎の木盆踊り開催!

平成24年8月10日(金)に一宮市富田の榎の木作業所グラウンドで、今年も盛大に納涼盆踊り大会が行われました。それぞれの方々が、踊りを楽しんだり、食べ物を買ったり、金魚をすくったりと..自分なりの参加の仕方、夏の一夜を過ごしました。そして、恒例の大花火とともに、盆踊りの幕を閉じました。来年、またこのグラウンドで、会おうね。という願いをこめて...

70号きぼうの目次

表紙・写真・目次	P. 1
地域福祉コーナー①/チャイブ夏祭り	P. 2
地域福祉コーナー②/ケアホーム計画	P. 3
施設コーナー①/わがんせ	P. 4
施設コーナー②/園	P. 5
地域福祉コーナー③/きーぶ	P. 6
かしの木の会コーナー①/らちえっと	P. 7
かしの木の会コーナー②/きそがわ福祉会見学	P. 8
文芸コーナー	P. 9
お知らせコーナー/予定など	P. 10

地域福祉コーナー②

チャイブ夏祭り

平成22年7月からチャイブ夏祭りが始まりました。年に1回、地域の方達との交流を目的に7月に行なっています。機材やちょうちん、やぐらなどは檜の木福祉会の盆踊りで使用しているものを借りながら行なっています。あくまでも『地域と共に』という点にこだわりながら地域での夏の風物詩となるように行なってきました。

準備では、地域で活動している団体に風船釣りの風船やこよりを作るお手伝いをしてもらったり、当日の模擬店の店番には、支援を必要とするお子さんが檜の木福祉会スタッフと共にボランティアしています。

夏祭り中は、地域で活動するよさこいや踊りの会に夏祭りを盛り上げていただきました。去年は踊りの会だけでしたが今年新たに「よさこい」のグループも迎えてダイナミックにオープニングを飾っていただくことができました。踊りの会の方達は、暑い中たくさんの曲を踊って頂き、利用されている方と地域の方が一体となり楽しむことが出来たので本当に感謝しています。



今年の模擬店も昨年同様、焼きそばやフライドポテト、ポップコーンなども大盛況でした。地域の方からも好評でほとんどの物が完売しました。

地域の方達に当たり前のようにハンディのある方達と交流してもらい地域の風物詩としてたくさんの方達に来ていただけるように今後も実施していきたいと思えます。来年度は、今年度よりもたくさんの方に来て頂けるように実施していきたいと思えます。ご協力していただいた団体や檜の木福祉会のスタッフの皆様には深く感謝いたします。

チャイブ 川口



清掃作業の委託も大歓迎です。
洗車や草取りなどのご要望のある方は、一度お問い合わせください。

(担当：スタッフ 川口)

療育サポートプラザ「チャイブ」
〒491-0067 一宮市北丹町2番地
(TEL0586-28-8288)

地域福祉コーナー②

ケアホームの整備

ケアホーム整備の必要性

現在の福祉の状況の中で、生活面の地域移行にケアホームの整備は欠かすことができません。愛知県の社会福祉施設等施設整備費補助金は、新規ケアホームの申請が多く、国や県もそれらの申請に多く応えています。また、一宮市は障害者自立支援協議会を通じて、福祉サービス事業者や、サービス利用者へのアンケートを行いました。その結果、圧倒的にケアホームの需要が高いことと、それに応えるケアホームの数が足りていないことがわかりました。そこで、今年度から3ヶ年中に短期入所を併設したケアホームを建設した事業者に対して、一宮市独自のケアホーム建設補助金を出すこととなりました。

樫の木ケアホームの整備



**えんじゅの家（メソネット形式）
真ん中の部屋だけを借りている**

毎年2件ずつくらい設置してきました。平成24年9月現在、11件のケアホームを運営しています。ケアホームの整備の方法にはいくつかあります。賃貸住宅を、ケアホームとして利用している方法（これには、2種類あって、アパートの1室を借りている。

樫の木のケアホームは、平成18年5月に「こぶしの家」がはじまり、

毎年2件ずつくらい設置

戸建てをそのまま借りている。)その他、中古住宅を購入してケアホームにしたもの。土地を入手して、補助金等の整備費の協力を得て新築したもの。このように設置の成り立ちはさまざまです。

ケアホーム利用希望者の動き

樫の木福祉会では、ケアホーム利用の希望者を「GHCはぎわら」というケアホーム事業所のサービス管理責任者が把握しています。その人数が、随時30名ほどあると聞きました。また、かしの木の会という後援会でも、希望者に対して他施設見学会や、ケアホームの講演会を催しています。つい先日の9月7日にも、ケアホーム利用者の保護者と利用希望の保護者が、かしの木の会の企画で座談会を開いたと聞きました。60名ほどの会員が集まったそうで、ケアホーム利用の保護者からは、「利用し始めは心配していたが、元気にやっていること。リズムが整ってきた。」などの意見が出たそうです。また、希望している保護者からは、「今どんな活動が必要か?」「何歳から利用するのが適当か?」などの質問があったそうです。

これからのケアホーム整備

ケアホームの利用希望者は、これからもますます増え、重度の方の利用も増えてきます。その人の障害特性を考慮した建物や部屋が必要であれば、新築のケアホームの用意が必要です。相談センター等からの緊急のケースであれば、賃貸のグループホーム・ケアホーム等も確保していかなければなりません。いずれにせよ、希望者のニーズは絶えることなく、しかも多様化しています。そのニーズに対して、幅広く・継続的に対応していく力が法人に求められていると思います。

樫の木作業所 只井秀明

施設コーナー①

フード&ベーカリー「わがんせ」で 美味しいパンを召し上がれ!

6月4日にオープンした「わがんせ」は、早いものであれから3ヶ月が経とうとしています。ここまでこられたのも地域の方をはじめ、沢山の皆様のご協力なくしては成せなかったことだと思います。

少しずつ皆さんに浸透してきている「わがんせ」ですが、改めて紹介させて頂きたいと思えます。

「わがんせ」には、給食事業とパン事業があるのですが今回はパン事業を紹介していきたいと思えます。施設としての紹介は第69号のきぼうに掲載されておりますのでよろしければご参照ください。

<パンの紹介>



まずは食パンです。

毎日食べて頂けるようあきのこない味のために日々少しずつ改良しています。450円で販売しており前日までに予約も可能です。



オーソドックスなあんぱん、クリームパン、メロンパンです。どれも100円で販売しておりボリュームたっぷりです。



当店人気ナンバー1のスイートポテトパイです。1口サイズで食べやすくおやつに最適です。お値段もお手頃100円で販売しております。



ソーセージやハム、カレーパンなどの惣菜パンも販売しております。大体の商品が各120円です。

この他にも、まだまだ沢山の商品があります。是非お店の方に足を運んで見てください。ご意見、ご感想もお待ちしております。

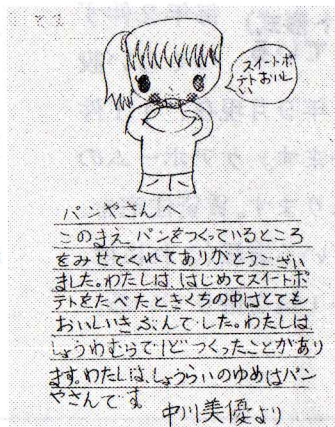
今後も皆様には「わがんせ」を温かくお見守りくださるようよろしくお願い申し上げます。

青井一樹

<営業日/時間等>

○月曜日～土曜日 午前10時00分～16時00分

※お休み=日曜、祝日、夏季休暇、年末年始休暇



←わがんせの
ファンが
できました!

施設コーナー②

檜の木園 日中活動 2012 夏

こんにちは。檜の木園です。今年の夏も暑いですね。夏バテや熱中症に注意しながら毎日をご過ごしております。

さて、今回は檜の木園の日中活動のご紹介をさせていただきます。檜の木園は3つの作業室があります。就労継続B型→「そよかぜ」、生活介護→「あおぞら」「すまいる」で構成されております。

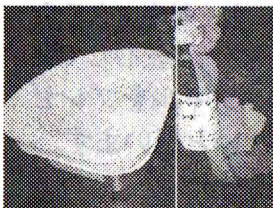
まずは、作業内容です。

「そよかぜ」では、油こしに使用する浄油器の作成、発送用の封筒を入れる作業、ゴムのバリ取り、外へ出での園芸作業などを行っております。

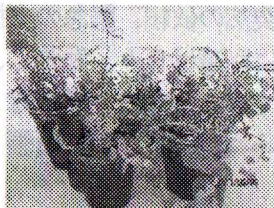
コーヒー・紅茶の移動販売（150円）も行っております。地域の方々と触れ合いながらの仕事は、皆様生き生きとされています。販売に使用したコップを再利用し、観葉植物を植えたエコカップ（480円）の販売もしております。

「あおぞら」、「すまいる」で行っているのが、糸のリサイクル作業やゴムのバリ取りです。個々に応じた作業の仕方が工夫されております。

糸の作業でゴミとなる、布をリサイクル品とし、水切りネット（10枚入り30円）の販売もしております。評判もますますです。



水切りネット



エコカップ

日中活動はというと、健康づくりのため、公園などにウォーキングに出かけたり、ドライブに出かけたりしています。やっぱり室内にいるよりも、外へ出て歩いたり、車に乗ったりしたときの方が皆様、楽しそうな表情をします。また、車も乗用車に乗ったときよりも、バスに乗った時のほうが楽しそうです。

休憩中に音楽を聴くために、図書館にCDを借りに行くこともあります。図書館といえば、静かな場所。大きな声が出てしまわないかとドキドキすることもあります。自分の好きなCDを一生

懸命探して、楽しみにしているんだなと感じます。

その他には、下水道科学館などの見学をしたり、喫茶店を利用したりもしています。

休憩時間や昼休憩では、雑誌を読んだり、パズルに取り組んだり、ボール遊びもしております。自ら進んで、掃除をしてくれたりする人も……。見習わないといけませんね。

日本には四季という素敵な風流もあるので、季節ごとの花を見に行ったりもしています。春はサクラ、夏はアジサイ・ヒマワリ、秋はコスモス、冬は……。季節を肌で感じてもらいたいと思います。

ヒマワリ畑をウォーキング♪



しかしながら、今年も猛暑が続き、連日熱中症に関するニュースも多く流れました。そんな中、ウォーキングに出かけたりはなかなかできません。そこで、皆様が楽しみにしているのは、夏ならではの、そう、プールです。

様々な理由で公共のプールに行けなかったり、利用が難しかったりする方も見えます。公共のプールと比べるとかなり小さいプールですが、皆様それぞれに楽しんで見えます。

今後とも、皆様が楽しいと思えるような活動を提案し、素敵な毎日になるよう微力ながらお手伝いしたいと思います。

檜の木園 加藤栄治

地域福祉コーナー③

こんにちは、きーぷです。



「きーぷ」の日々は、毎日がスペシャルなんです。毎日多くの電話が鳴る。支援計画は同じでも、利用者さんの日々が毎日違うのと同じで、ヘルパーも日々違うことを感じて過ごしています。

例えば・・・

「通所に通えずに自宅で暴れているので、コロニーに入院させてほしい」という母からのSOS。ヘルパーがとりあえず少ない情報をもとに家まで駆けつけて、真っ暗な部屋の中シャッターを上げ、様子を見ながら声をかけ、着替えを手伝い通所まで送り届ける。この日のサービスは実際は算定してないのですが、この方は今はきーぷでの朝の入浴、身支度、送り出しをして、通所に通うことができるようになっております。

中学1年生の少年（軽度の知的）が学校に行けず3ヶ月家に引きこもっている。母と2人で生活していて、負担はすべて母が背負っているそんな方の家に訪問。少年は熱中症による脱水を起こして、寝たきりの状態でした。病院へ行ってもらう治療完治してから、朝の学校へいくまでの送り出しの支援をしました。今では、お友達が家まで迎えにきて学校へ頑張っていけるようになりました。

最近突然の電話や、相談に対応させて頂くケースが増えてきています。

支援にはいる時に心がけていることは、支援を遂行することも大切ではありますが、「利用者さんの環境に変化はないか？」という事に、まず「気づく」ことです。

私達ヘルパーが、利用者さんのお宅に入り、生活の一番近くのところまで支援させて頂いていることの最大の役割だと思います。



毎日20件以上の支援にはいっておりますので、少なくとも毎日20人の生活のパターンがあります。ヘルパーは、今日がいつもと同じで支援を無事に終わりますように・・・と願いながら臨みます。「子供が帰ってきた顔を見れば、今日が楽しかったかどうかは、分かりますよ。」とよく利用者さんの親御さんおっしゃって下さいます。

これは、私達ヘルパーが事務所にいても同じことが言えます。ヘルパーが支援を終えて帰宅してきた表情や、「ただいま」の一言で、「良い支援ができたのか？いつもと違ったことがあったのか？」がわかります。

もちろんいつもと違うことの方が多く、いいことばかりではありませんが、反省することも含め、すべてに意味があり、今日が明日へとつながっていける支援でありますように・・・と思いながら、毎日を過ごしています。

今年も暑い夏が終わります。たくさんの子供さん達の笑顔に私達は太陽と一緒に触れ合うことが出来ました。彼、彼女たちが大人になっていく過程も見られるのも、このきーぷの仕事の、特権ですね（笑顔）。

突然の依頼、緊急の支援にすぐ対応できるように私達は日々、勉強し、皆さんに安心して生活できるように、素敵なスペシャルをプレゼントできるように頑張りたいと思います。

この夏もみなさん、スペシャルな日々を送ることが出来ましたか・・・。



H24.8 きーぷ・山口

かしの木の会コーナー①

今、'らちえつと'に'通える幸せ'

我が子卓史は現在21歳、らちえつとに通い出して3年になります。

一宮養護学校を卒業して一ヶ月と経たないうちに腸捻転を起こし、緊急手術を受け、その後四度の開腹手術に耐え奇跡的に生命をつなぐことができました。ですが、小腸のダメージが大きく、いまだに腸の穿孔が閉じず腸液が絶えずカテーテルを通して体外に排出されている状態です。11ヶ月の入院生活を終えてからも自宅で毎日夕方から朝まで16時間かけての高カロリーの栄養点滴が欠かせません。

そのような状態ですので、入院期間中はまさか、またかしの木に通所できる日が来るとは思ってもみませんでした。

幸い、らちえつとは看護師さんが常駐してくださっているため、安心して通わせることができます。

在学中は風邪を引くこともほとんどないほど元気な子供でしたが、本人が進路相談で「どうしても、らちえつとに通いたい」と意思表示したのは間違いのない選択だったと改めて思いました。らちえつとは、重度の心身障害をもった人が普通の暮らしを送ることを目的とし、移動や意思表示もままならない方たちの側に立って支える施設だということが子供の

目にも見て取れたのだと思います。職員さん方のスキルアップ意欲も非常に旺盛で、介護職員による医療的ケア実践に向けての取り組みや理学療法・車椅子の知識習得など一生懸命努めてくださっていることも本当に有り難いことと感謝しております。



また、日中活動のみでなく、子供たちの親亡き後も視野に入れて、自立に向けての支援や将来像も一緒に考えてくださっています。既にケアホームに入所されている方も数名いらっしゃいますが、母子ともに安心して利用されている様子が大変ほほえましく感じられます。一人ひとりの利用者の側に立ったアプローチがなされているからに他ならないと思います。

わが子の身体的状況は決して楽観視できるレベルではありませんが、職員さん方にご協力いただきながら、一緒に今後の卓史の人生を見つめていきたいと思えます。

保護者 青山祥子

かしの木の会コーナー②

研修委員会

7月13日、きそがわ福祉会の施設見学に出かけました。はじめに玉の井第一ホーム、第二ホームをみせてもらい、ケアホーム管理者の高橋さんにケアホーム全体のお話を伺いました。



第一ホームは、短期入所事業もされている為、毎日4~5人のスタッフの方が宿泊されているそうです。また、新規のホーム利用者決定は、月一回開かれるホーム運営委員会の話し合いでされるとのことでした。家賃は、福祉会内の賃貸料金と同じくらいの額で、食事については、上限額を設けるなど、どちらも低料金で驚きました。

ホーム入居の際、男女混合や、年齢差があることに対する質問では、問題ないとの答えでした。食事は、職員の方も一緒に食べられ、メニューやカロリーも、いろいろと工夫されていました。病気になった時、家に帰るのが難しい方につい

ては、スタッフの方が、看病されているそうです。「みなさんととてもかわいいです。」と高橋さんがおっしゃっていました。次に第二北方ホーム、第三北方ホームをみせていただきました。こちらも玉の井と同じで、隣接されているので、スタッフや利用者さんは、お互いに交流をとってみえます。週末に、家に帰られない方がみえる為、365日、ホームを開けられているそうです。

お昼になり、「c a f e KURODA」で食事をとりました。お店のおしメニューは、特製のカレーだそうです。また、入口のそばにおいてある何種類かの手作りクッキーを買うこともできます。

きそがわ作業所通所施設として、「きそがわ作業所」、「第二きそがわ作業所」、「黒田ドリーム作業所」などがあり、c a f e KURODAから車で10分の黒田ドリーム作業所を見学させていただきました。一日の利用者数は、だいたい30人位で、天井が高い開放感あふれる施設内では、いろいろなお仕事をされていました。外の大きなビニールハウスで、しいたけ栽培、駐車場の横の畑では、農作業をがんばってみえました。今年から始められたしいたけ栽培は、温度・湿度管理などが大変だとのことですが、10月からの収穫は、楽しみだそうです。

今回の見学では、多くの施設を見学させていただきました。大変お世話になりました。

どうもありがとうございました。

研修委員 櫻木

文芸コーナー

榿の木を想う

4年前、榿の木の里の玄関をはじめて訪れたとき、そこで出会った利用者の人々の顔、みんなそれぞれ個性にあふれた表情に、だれもが幸せを感じているように思えた。

そして、利用者と彼らを援護している私の孫のような若い人との会話の中にも、幸せ感がいっぱいあったことを、今もはっきり覚えています。

そして、今は地域福祉活動の一環として、古い自宅の物置を5年前に大改装し、一般のひとびとに利用していただいています。特に、この「ふれあいサロン&ギャラリー東雲堂」で月2回開催される「ふれあいサロンやわせ」の活動に参加される平均82歳の会員さんたちの顔にも、榿の木の利用者さんの顔に負けないくらいの幸せ感があふれています。それは、90歳を越えるひとりの女性の会話、息子や孫に、「バーちゃんこんなに長生きして迷惑じゃない？」と聞くと「元気で長生きして！」との返事、「私は幸せだわー」と大きな笑い声、周りも幸せを感じています。

私は、学校教育に40年間たずさわり、定年迎えた翌日から生涯学習施設南部公民館で嘱託3年、園芸講師4年を経験し、現在、民生児童委員としての地域福祉や保護司の保護観察など各種のボランティア活動をしています。地域の高齢者を中心に小学生から中・高校生まで、各世代の方々との意見交換や相談を通して見識を広め、行動を通して自分の健康保持の糧にしています。

幸せのある国を訪ねて1

私が、毎日一生懸命に働く妻のために世界旅行をしようと考えたのは、満41歳になった夏休み前でした。当時は、教員の分際で外国に出れるなんて誰も思っていなかった。

申請時に県教委・尾張教育事務所・市教委からストップがかかった。県費半額補助で地区から選ばれた2・3人だけしか、海外旅行はできなかった時代でした。これでは、百年たっても行ける訳がない教育界だった。ところが、前年の夏休み42日間で、職員旅行の間を除いて40日間の学年の大輪菊の世話が校長に知れていて、それが大きな後押しとなって許可された。もちろん全額私費でハワイへ行きました。1ドル256円の時代でした。

これが私の海外旅行の始まりで、以後10年間、妻の働きにより旅行ができました。

中間管理職時代後15年間、仕事優先がモットーの私は旅行を中断し、妻の三回忌を終えた65歳からひとりで旅を再開しました。

そして「目標75歳百カ国訪問」の夢は、8月16日アルメリアで達成し、75歳の誕生日と重ねて祝っていただきました。

理事長 橋本 浩



写真 “ やわせ ” ふれあいサロンの様子

お知らせコーナー

【 行事予定 10月~12月 】

かしの木フェスティバル
10月14日(日)
場所=富田山グラウンド

福祉とボランティア活動展
10月20日(土)~21日(日)

尾西祭り
10月27日(土)~28日(日)

福祉の集い
11月4日(日)

☆ ボランティアさん募集

毎月のレクリエーション等の行事と一緒に
楽しみたい方！作業と一緒に手伝って
くださる方！何でも結構です。まずは、
ご連絡ください

自主製品 販売中

榎の木園 コーヒー出張販売、
水切りネットなどの販売
喫茶 ふらっと

榎の木作業所(どんぐり)
クッキー、パン、駄菓子
ごみ袋、お花などの販売

かしの木の里
ビーズ、革、とんぼ玉、
陶芸、5本指靴下、手芸、
押し花、木工、石鹸など

お近くにお越しの際は、
是非、お立ち寄りご覧ください。

地域の人々に支えられ、地域の人々と共に

かしの木

かしの木の会 事務局 〒494-0018 愛知県一宮市富田字砂原 2147 番地 Tel 0586-63-2111
かしの木の里内 Fax 0586-61-1200

榎の木福祉会

- | | | |
|----------------|------------------------|------------------------------|
| ☆榎の木作業所・どんぐり | 一宮市富田字漆畑 16 番地 | Tel/Fax0586-61-6055/61-6514 |
| ☆榎の木園 | 一宮市富田字若宮 17 番地 | Tel/Fax 0586-62-8202/62-8253 |
| ☆ステップ | 一宮市明地字上平 35 番地の 1 | Tel/Fax 0586-68-1207/68-1241 |
| ☆わがんせ | 一宮市祐久字九百坪 204 | Tel/Fax0586-68-2700/68-1250 |
| ☆かしの木の里 | 一宮市富田字砂原 2147 番地 | Tel/Fax 0586-63-2111/61-1200 |
| ☆かしの木サポートプラザ | 一宮市北丹町 2 番地 | Tel/Fax 0586-28-8288/28-8188 |
| ☆カフェふらっと | 一宮市萩原町串作字女郎花 1617 番地 8 | Tel 0586-67-5070 |
| ☆園芸センターさいた | 一宮市西五城字山方 21-1 | Tel/Fax 0586-62-0039 |
| ☆相談支援ゆんたく | 一宮市北丹町 2 番地 | Tel/Fax 0586-64-5882 |
| ☆就業・生活支援すろーぷ | 一宮市明地字上平 35 番地の 1 | Tel/Fax 0586-68-1207/68-1241 |
| ☆療育サポートプラザチャイブ | 一宮市北丹町 2 番地 | Tel/Fax 0586-28-8288/28-8188 |
| ☆居宅介護事業所きーぷ | 一宮市富田字砂原 2147 番地 | Tel/Fax 0586-63-2111/61-1200 |
| ☆G. H. C はぎわら | 一宮市萩原町串作字女郎花 1616 番地 3 | Tel 0586-67-1787 |
| ☆G. H. C びさい | 一宮市祐久字九百坪 97 | Tel 0586-68-6505 |
| ☆G. H. C やまと | 一宮市萩原町串作字女郎花 1616 番地 3 | Tel 0586-67-1787 |